

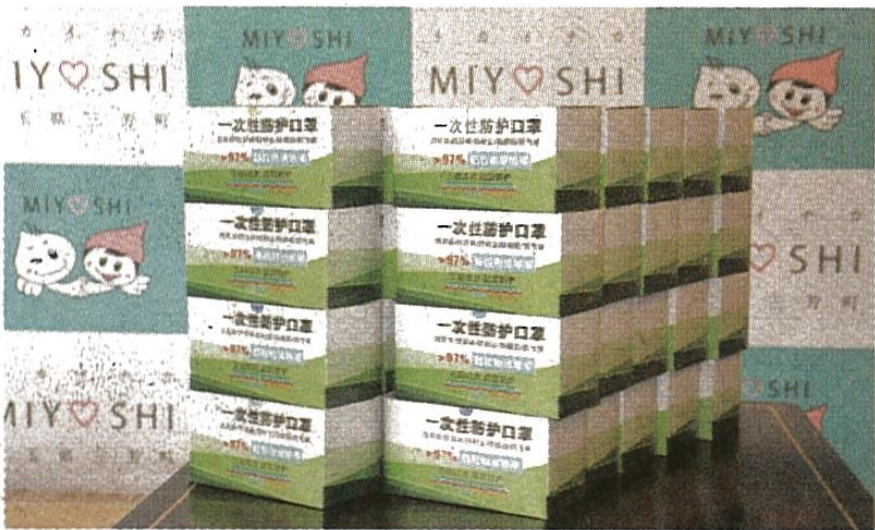
マスク計2万枚寄付

朝霞の
不動産会社 9市町と医療法人に

新型コロナウイルス感染症予防のため、朝霞市の不動産会社「ココ・エステート」（奥山夏子社長）は、朝霞市や新座市、三芳町など県西部の自治体9市町と医療法人社団武蔵野会「TMGあさか医療センター」にマスク各2千枚（計2万枚）をそれぞれ寄付した。

寄付したのは、この3市町と同センターのほか、川越市と所沢市、和光市、志木市、富士見市、ふじみ野市。同社によると、マスク不足を受け、同社の合同会社は中国からマスクを輸入し、販売。東上線沿線の自治体などでマスクが不足していることを知り、管内で役立ててもらおうと、寄付に踏み切った。同社の奥山誠之代表は「必要なところで役立ててほしい」と話している。

寄付を受けた三芳町は町在住の妊婦200人を対象に1人10枚を配布することを決め、妊娠届を受けている妊婦には郵送。4月末以降に届け出た妊婦は窓口で配布している。



「ココ・エステート」が三芳町に寄付した中国製マスク2千枚（三芳町提供）